

日本の想像力

著者	中西 進
雑誌名	日本研究・京都会議 KYOTO CONFERENCE ON JAPANESE STUDIES 1994 ?
巻	.non01-01
ページ	380
発行年	1996-03-25
その他のタイトル	The Imagination in Japan
URL	http://doi.org/10.15055/00003482

日本の想像力

中西 進 (国際日本文化研究センター)

NAKANISHI Susumu

「日本の想像力」をテーマとするセッションには、国の内外からもっとも刺戟的な参加者を迎えることができ、多大な成果を収めた。

外国からはエドウィン・クランストン教授 (アメリカ、ハーバード大学)、クロッペンシュタイン教授 (スイス、チューリッヒ大学)、ビッシュアナタン教授 (アメリカ、ブラウン大学) の諸氏の参加をえて、それぞれ「想像力と和歌」「人形浄瑠璃に見る想像力」「文学に見る日本とインドの想像力」をテーマとする報告が行なわれた。クランストン教授は該博で端正な学風そのままの行き届いた報告であり、クロッペンシュタイン教授の報告は、もっとも氏が専門とする分野での斬新なものであった。そしてビッシュアナタン教授はインドの詩を対照とするユニークな報告で、人びとを驚嘆させた。

また日本国内からは有馬朗人 (理化学研究所理事長)、大塚恭男 (北里大学東洋医学研究所長)、辻井喬 (作家、詩人) の3氏の参加をえた。有馬教授は世界的に著名な原子物理学者であり、同時に東京大学総長として高等教育の要職にたずさわり、さらに日本の代表的な俳人のひとりである。その立場からの総合的な報告は物理学史をたどりながら、自然科学の中にひそむ想像力を語ったもので示唆深かった。大塚所長は現代日本の漢方医学の第一人者として、滋味あふれる報告の中に、医の診断のもつ想像力を語った。そして辻井氏は詩人としての立場から想像力と創造力との関係を明らかにし、その活きいきとした内容が人びとを魅了した。

以上のものは、そのフルペーパーをふくめて、近刊の「日本の想像力」(中西進編 JDC刊)に発表される予定である。